

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
長岡市	川口地区（津山、上川、西川口、木沢、田麦山）	令和3年3月29日	令和3年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	809.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	432.66ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	181.36ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	120.89ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16.75ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	79.37ha
（備考）	

※1④の数値については、アンケート結果に基づく今後の規模拡大面積の合計

2 対象地区の課題

<p>今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積（79ha）よりも、65才以上で後継者未定の農業者の耕作面積（120ha）の方が多く、新たな農地の受け手の確保が必要であるが、後継者不足を懸念している。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>【川口地区全体】 中心経営体となる認定農業者も少ないことから、今後も各地域での話し合いを続けるとともに、担い手と後継者の育成に取り組んでいく。</p>
<p>津山：多面的機能と中山間地域直接支払協定の話し合いの場を継続し、今後も担い手への農地集積を検討していく。</p>
<p>上川：武道窪地区では、基盤整備事業が予定されている。任意組織の法人化も検討しており、多面的機能と中山間地域直接支払協定の話し合いの場を継続し、今後も担い手への農地集積を検討していく。</p>
<p>西川口：多面的機能と中山間地域直接支払協定の話し合いの場を継続し、今後も担い手への農地集積を検討していく。</p>
<p>木沢：中山間地域直接支払協定の話し合いの場を継続し、地域の担い手で守っていく。</p>
<p>田麦山：多面的機能と中山間地域直接支払協定の話し合いの場を継続し、今後も担い手への農地集積を検討していく。</p>

注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。